

1. 概要

この資料は下記の製品について、変更点を提示します。

- ・ TrustBind/Federation Manager IDP Edition
- ・ TrustBind/Federation Manager IDP Extend Edition
- ・ TrustBind/Federation Manager SP Edition

2. 変更内容

2.1 全製品共通

製品基盤の長期的な保守性・セキュリティ維持を目的に、ランタイム・フレームワーク・OSSライブラリのバージョンアップを実施しました。

(1) 【動作環境の変更】

- ・ Java 21 への移行
- ・ Jakarta EE 10 への対応 (javax.* から jakarta.* への名前空間変更)
- ・ Apache Tomcat 10 への移行

(2) 【Spring Framework のバージョンアップ対応】

- ・ Spring Framework のバージョンアップとして、Spring 5.3.39 から Spring 6.2.11 にバージョンアップしました。

(3) 【OSS バージョンの統一と更新】

- ・ 各製品モジュール間で OSS のバージョン統一を図りました。
- ・ 動作環境やフレームワークのバージョンに合わせた OSS バージョンの見直しを実施しました。

2.2 多要素認証モジュール

(TrustBind/Federation Manager IDP Edition、
TrustBind/Federation Manager IDP Extend Edition、
TrustBind/Federation Manager OP Edition 共通)

(1) 【設定ファイルの削除とマニュアル更新】

- ・ 不要な設定ファイルを削除し、関連するマニュアルの手順を更新しました。

2.3 オペレータ/ユーザ管理機能

(TrustBind/Federation Manager IDP Edition、
TrustBind/Federation Manager IDP Extend Edition、
TrustBind/Federation Manager OP Edition 共通)

(1) 【オペレータ管理画面の改善】

- ・ オペレータ登録・変更画面で入力エラーがある場合に「保存」ボタンを押しても、選択済みの権限情報が消えずに表示されるように改善しました。

3. 主な変更ファイル一覧

- ・ 更新ファイル一覧

[ドキュメント: Single Tenant Disk/TBFM/Document]

- ・ Document
 - ・ TrustBind_インストールマニュアル.pdf
- ・ Document/共通
 - ・ TrustBind_多要素認証モジュール利用ガイド.pdf
- ・ Document/オペレータ
 - ・ TrustBind_オペレータ／ユーザ管理機能利用ガイド.pdf
- ・ Document/SAM I
 - ・ TrustBind_システム運用マニュアル_SAML 編.pdf

4. インストール

- ・ 新機能を使用する場合は、インストールマニュアルをご覧ください、新規インストールを行ってください。
- ・ その他の方法（1.12.0 から 1.13.0 へのアップデート）をご検討の場合は、保守窓口までお問い合わせください。

5. 制限事項

(1) OAuth2.0/OpenID Connect 機能について

- ・ 本バージョンでは、以下の製品は提供されません。
 - TrustBind/Federation Manager OP Edition
 - TrustBind/Federation Manager RP Edition
- ・ ソーシャルメディア連携のサブ認証機能は、本バージョンの対象外となります。

以上